

委託利用申込書  
( プラズマ質量分析 )

下記のとおり分析願います。なお、分析結果の取扱いについては、オープンファシリティ推進支援室登録機器共同利用等実施要項を遵守します。

記

申込番号 (事務局記入欄)	
------------------	--

※ 下記太枠内のみご記入ください

利用責任者 (支払責任者)	所属機関名	
	組織名(職名)	( )
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	
利用者 (上記利用責任者と異なる場合のみ記入)	所属機関名	
	組織名(職名/年次)	( )
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	
目的・概要		

申込総検体数	検体
--------	----

利用負担金単価	WEB をご確認ください	対応検体数	検体
		分析時間	時間

分析結果受領	令和 年 月 日	受領者署名	
--------	----------	-------	--

&lt;申込上の注意&gt;

- 受付時間は、平日の 10:15-12:15、13:15-17:00 です。
- 操作手順確認やデータ信頼性確保の観点から、業務実施時に立ち合いを依頼します。
- サンプルは水系溶媒の溶液として、必ず孔径 0.22 $\mu$ m 以下のフィルターを通したものをご用意下さい。有機物を含む試料は灰化処理を行ってください。必要液量は最低 10 ml となります。
- 試料濃度は、1 元素当たり原則 100 ppb 以下でお願い致します。100ppb を超える場合には機器担当者へご相談ください。また、全ての未知試料は段階希釈をしてご用意ください。
- 強塩基性の試料は測定できません。酸の濃度は 20%以下としてください。
- 測定サンプルには、試料番号、試料名をご記入ください。
- 事前打ち合わせ時に不明な点がある場合には、受け付けることができません。
- サンプルと得られたデータは、必ず研究基盤総合センター分析部門から直接お持ち帰りください。

オープンファシリティ外部利用者免責同意書

筑波大学研究基盤総合センター副センター長（分析部門） 殿

私は、筑波大学研究基盤総合センター分析部門の所有する登録機器の利用に対して、以下の免責事項に同意します。なお、測定又は委託試料についても分析部門担当者の安全を守るために持込試料の性質について情報提供します。

<オープンファシリティ利用時の免責>

オープンファシリティ推進支援室登録機器共同利用等実施要項（令和4年6月24日）（抄）

（免責）

第19条 第9条により外部利用者が登録機器を利用した場合に、本学はその得られたデータ等を保証しない。第10条による委託利用の場合も同様とする。

2 共同利用等の利用により外部利用者に発生した損害又は損失については、本学はいかなる責任を負わず、損害賠償義務は一切ないものとする。

第19条に同意します。

<測定又は委託試料について>

放射性物質、ダイオキシン類、アスベスト等の有害物質ではありません。

爆発性ではありません。

悪臭を発生しません。

毒性はありません。

揮発性ではありません。

消防法（昭和23年法律第186号）で定義される危険物第1類から第6類までに含まれません。

試料としての検体に病原微生物等は含まれません。

注意すべき特記事項

令和\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

[所属機関]\_\_\_\_\_

[利用者氏名]\_\_\_\_\_

署名又は記名捺印

[分析部門担当者氏名]\_\_\_\_\_

署名又は記名捺印